

平成 25 年度  
飼料増産シンポジウム

平成 25 年 10 月 21 日

農林水産省生産局畜産部畜産振興課  
全国飼料増産協議会

資料の取り扱いについて

本資料を複写、転写及び引用する際は、必ず農林水産省生産局畜産部畜産振興課  
または全国飼料増産協議会の了承を得た上で利用されたい。

## 目 次

あいさつ	i
飼料増産シンポジウムプログラム	ii
飼料増産シンポジウム開催要領	iii
<b>【情勢報告】</b>	
自給飼料生産をめぐる情勢と増産に向けた取組	1
農林水産省 岩波 道生	
<b>【技術紹介 1】</b>	
雑草に打ち勝つ草地管理（北海道における植生改善の成果）	9
ホクレン農業協同組合連合会 大塚 博志 氏	
<b>【技術紹介 2】</b>	
進化する飼料作物（飼料生産性向上のための優良品種導入と品種開発）	29
(独)農研機構 畜産草地研究所 佐藤 尚 氏	
<b>【技術紹介 3】</b>	
配合飼料ゼロ給与酪農への挑戦	
（サイレージの品質アップと集約放牧で達成した高収益経営）	45
酪農家 三浦 祐希拓 氏	
<b>【技術紹介 4】</b>	
永年生牧草を補う高品質粗飼料の増産	
（消化性の高い草種を組み合わせた粗飼料増産体系）	55
長野県畜産試験場 浅井 貴之 氏	
<b>【総合討論】</b>	
今こそ自給飼料の増産により生産コストを削減しよう	71
コーディネーター (独)農研機構 畜産草地研究所 大同 久明 氏	

## —飼料増産シンポジウムの開催に当たって—

輸入飼料穀物価格が高騰する中、輸入飼料原料に過度に依存した畜産から国内の飼料生産基盤に立脚した畜産へ転換を図ることが喫緊の課題となっています。

国内の生産現場では、高品質な粗飼料の生産、草地の生産性の向上、放牧の活用などにより様々な形で、自給飼料を活用した生産コストの低減の取組が行われていますが、依然として個々の取組に留まっているものも多く、広がりを持った全国的な波となっていないのが現状です。

このため、全国的な飼料増産運動の一環として、農林水産省及び全国飼料増産協議会の共催で、現地における生産コストの削減につながる飼料生産・利用技術の取組について、関係者で広く情報を共有し、自給飼料の増産に向けた機運の醸成を図るため、「飼料増産シンポジウム」を開催することとしました。

このシンポジウムでは、自給飼料の増産コストの低減につなげるために取り組んでいる有用な技術の紹介を行います。このシンポジウムで取り上げる取り組み自体はもちろんのこと、その背景や考え方についても総合討論の中で議論頂き、各地域の取組の参考として頂けるよう、意義あるシンポジウムとしたいと考えております。



平成 25 年 10 月 21 日

農林水産省生産局畜産部長 原田英男

## 飼料増産シンポジウムプログラム

於 農林水産省 7階講堂

14:00 挨拶

農林水産省生産局畜産部長 原田 英男

14:05 情勢報告

自給飼料生産をめぐる情勢と増産に向けた取組

農林水産省生産局畜産部畜産振興課草地整備推進室長 岩波 道生

14:25 技術紹介

① 雑草に打ち勝つ草地管理

(北海道における植生改善の成果)

ホクレン農業協同組合連合会 飼料部 主任技師 大塚 博志 氏

② 進化する飼料作物

(飼料生産性向上のための優良品種導入と品種開発)

独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構

畜産草地研究所 上席研究員 佐藤 尚 氏

③ 配合飼料ゼロ給与酪農への挑戦

(サイレージの品質アップと集約放牧で達成した高収益経営)

北海道河西郡中札内村 酪農家 三浦 祐希拓 氏

④ 永年生牧草を補う高品質粗飼料の増産

(消化性の高い草種を組み合わせた粗飼料増産体系)

長野県畜産試験場飼料環境部 専門研究員 浅井 貴之 氏

16:05 休憩

16:15 総合討論

コーディネーター

独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構

畜産草地研究所 草地研究監 大同 久明 氏

17:00 閉会

## 飼料増産シンポジウム開催要領

### 1 目 的

輸入飼料穀物や輸入粗飼料の価格が高騰する中、輸入飼料原料に過度に依存した畜産から国内の飼料生産基盤に立脚した畜産へ転換を図ることが喫緊の課題となっている。

このため、「今こそ自給飼料の増産により生産コストを削減しよう」をテーマに、全国的な飼料増産運動の一環として、現地における生産コストの削減につながる飼料生産・利用技術の取組について、関係者で広く情報を共有することにより、自給飼料の増産に向けた機運の醸成を図る。

### 2 日 時

平成25年10月21日（月）14：00～17：00

### 3 場 所

農林水産省 7階 講堂

（東京都千代田区霞が関1丁目2番1号）

### 4 主 催

農林水産省、全国飼料増産協議会

### 5 内 容

「飼料増産シンポジウムプログラム」による

### 6 参集範囲

畜産農家、農業関係機関・団体、都道府県、市町村、試験研究機関等

## 【総合討論】

テーマ

今こそ自給飼料の増産により生産コストを削減しよう

コーディネーター

独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 畜産草地研究所  
草地研究監 大同 久明 氏

パネラー

大塚 博志 氏

佐藤 尚 氏

三浦 祐希拓 氏

浅井 貴之 氏

岩波 道生

